

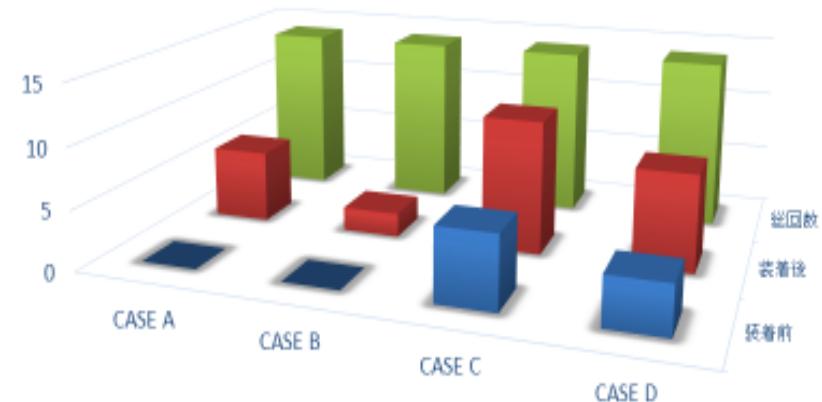
（第4報）自立支援介護・パワリハ学会、2017年（東京）

演題名：認知症と高度の難聴を有する4名に対する会話力賦活装置（CASA）の効用

発表者：佐藤 愛子・山中 道江・村中 茂義・浅田 章

所属：すこやか生野

## 装着前後の会話成立回数の比較



	CASE A	CASE B	CASE C	CASE D
■装着前	0	0	6	4
■装着後	6	2	11	8
■総回数	14	14	14	14

概略：高度難聴者や認知症発症者に CASA を使用した。環境を整えることで、自身で考え・伝え・選択する機会が増えた。